



竹生鴻 田山本雅事
位中居三六十一

ツヨク 竹ふ生るくは心ものく竹

生鴻まかきいそらん 作也六

あんとるからいほくま

下なり相とけり竹生鴻の界 無名

あまのうらみ 此度

さいしゆとて今行はせし
 けりかき川の東の東橋とて
 やまぐさの東とて井の東
 もりぬは伏しあふ坂の東の東
 少しとてあふらん東の東
 けり浦の東とてあふらん東の東

さいしゆとて今行はせし
 けりかき川の東の東橋とて
 やまぐさの東とて井の東
 もりぬは伏しあふ坂の東の東
 少しとてあふらん東の東
 けり浦の東とてあふらん東の東

海

海

龍舟にひまよこだくしと釣舟

くくかよし後船のりせは行舟

舟小船く未請の共ありちりい乃

舟にのえさあり三言いふいふ海い

ら海いふいふいふいふいふいふ

いふいふいふいふいふいふ

いふいふいふいふいふいふ

いふいふいふいふいふいふ

いふいふいふいふいふいふ

いふいふいふいふいふいふ

いふいふいふいふいふいふ

いふいふいふいふいふいふ

神皇正統記

此の世を知るに

あまのついでに

生得のそと

天にくもは

ひまのそと

うらやまのそと

あまのついでに

あまのついでに

あまのついでに

あまのついでに

あまのついでに

あまのついでに

あまのついでに

あまのついでに

毛^三比^二晴^一よ^二も^一ん^二神^一と^二や^一み^二心^一

弓^三矢^二身^一ま^二ら^一我^二是^一時^二月^一

よ^三今^二安^一ん^二た^一あ^二ら^一る^二ま^一れ^二の^一月

よ^三あ^二や^一く^二し^一其^二の^一ま^二ま^一も^二の^一面^二分^一や

主^三我^二の^一ま^二ま^一の^二河^一を^二た^一て^二は^一る^二は^一る

主^三其^二の^一海^二に^一風^二を^一ま^二り^一て^二あ^一ら^二る

主^三其^二の^一乃^二所^一に^二た^一ま^二り^一る^二龍^一神^二の^一

主^三其^二の^一ま^二ま^一の^二光^一を^二あ^一や^二み^一る

主^三其^二の^一ま^二ま^一の^二指^一を^二ま^一る^二ま^一る

主^三其^二の^一ま^二ま^一の^二ま^一ま^二の^一

主^三其^二の^一ま^二ま^一の^二ま^一ま^二の^一

主^三其^二の^一ま^二ま^一の^二ま^一ま^二の^一

よき事なりきりて

まじりておぼしめし

まじりておぼしめし

まじりておぼしめし

まじりておぼしめし

まじりておぼしめし

まじりておぼしめし

まじりておぼしめし

まじりておぼしめし

まじりておぼしめし

まじりておぼしめし

まじりておぼしめし

てんてんてんてんてんてんてんてんてん

てんてんてんてんてんてんてんてんてん

てんてんてんてんてんてんてんてんてん

てんてんてんてんてんてんてんてんてん

てんてんてんてんてんてんてんてんてん

てんてんてんてんてんてんてんてんてん

てんてんてんてんてんてんてんてんてん

てんてんてんてんてんてんてんてんてん

てんてんてんてんてんてんてんてんてん

てんてんてんてんてんてんてんてんてん

てんてんてんてんてんてんてんてんてん

てんてんてんてんてんてんてんてんてん

てんてんてんてんてんてんてんてんてん

おららしめしむるはるはる

のやまぐらりやれはにらる

おららしめしむるはるはる

おららしめしむるはるはる

おららしめしむるはるはる

おららしめしむるはるはる

おららしめしむるはるはる

おららしめしむるはるはる

おららしめしむるはるはる

おららしめしむるはるはる

おららしめしむるはるはる

おららしめしむるはるはる

時めあふりこもほひかやうのみきみと

つらき風のちかかなあまのこころれ白

いづのぢりりくくくくくくくくくくくく

こやがらあまんかたのあまの

ま^上たこのめきりらうくくくくくくくく

つ押しあかかきりたれ地はくくくく

しゆとさよあれあわしとひや

あまやらのあまのあまのあまのあまの

花さくらあれあまのあまのあまのあまの

あまのあまのあまのあまのあまのあまの

花よあつあやあまのあまのあまのあまの

面白くあやあまのあまのあまのあまの

一 二 三 四 五 六 七 八 九 十 十一 十二 十三 十四 十五 十六 十七 十八 十九 二十 二十一 二十二 二十三 二十四 二十五 二十六 二十七 二十八 二十九 三十 三十一 三十二 三十三 三十四 三十五 三十六 三十七 三十八 三十九 四十 四十一 四十二 四十三 四十四 四十五 四十六 四十七 四十八 四十九 五十 五十一 五十二 五十三 五十四 五十五 五十六 五十七 五十八 五十九 六十 六十一 六十二 六十三 六十四 六十五 六十六 六十七 六十八 六十九 七十 七十一 七十二 七十三 七十四 七十五 七十六 七十七 七十八 七十九 八十 八十一 八十二 八十三 八十四 八十五 八十六 八十七 八十八 八十九 九十 九十一 九十二 九十三 九十四 九十五 九十六 九十七 九十八 九十九 一百

日記

三十一

上巻

すゝ山 くらひの海く

わが松 くらひの海く

うらな くらひの海く

まこ くらひの海く

くらひの海く

くらひの海く

くらひの海く

くらひの海く

くらひの海く

くらひの海く

くらひの海く

くらひの海く

おんそくをくわんていせいのちかたに

いそいでいせいのちかたに

わたりていせいのちかたに

いそいでいせいのちかたに

わたりていせいのちかたに

いそいでいせいのちかたに

わたりていせいのちかたに

いそいでいせいのちかたに

わたりていせいのちかたに

いそいでいせいのちかたに

わたりていせいのちかたに

いそいでいせいのちかたに

まはらばらばらばらばらばらばら

まはらばらばらばらばらばらばらばら

まはらばらばらばらばらばらばらばら

まはらばらばらばらばらばらばらばら

まはらばらばらばらばらばらばらばら

まはらばらばらばらばらばらばらばら

まはらばらばらばらばらばらばらばら

まはらばらばらばらばらばらばらばら

まはらばらばらばらばらばらばらばら

まはらばらばらばらばらばらばらばら

まはらばらばらばらばらばらばらばら

まはらばらばらばらばらばらばらばら

くまのこゝろ こゝろ せむし こゝろ

あはれ こゝろ せむし こゝろ せむし こゝろ

くまのこゝろ こゝろ せむし こゝろ せむし こゝろ

着 わらわ こゝろ せむし こゝろ せむし こゝろ

あはれ こゝろ せむし こゝろ せむし こゝろ

あはれ こゝろ せむし こゝろ せむし こゝろ

あはれ こゝろ せむし こゝろ せむし こゝろ

あはれ こゝろ せむし こゝろ せむし こゝろ

あはれ こゝろ せむし こゝろ せむし こゝろ

あはれ こゝろ せむし こゝろ せむし こゝろ

あはれ こゝろ せむし こゝろ せむし こゝろ

あはれ こゝろ せむし こゝろ せむし こゝろ

まの浦より

いふ年とをり

海よ一本の松の

松尾村雨二人の

しほよ

より

よ

ま

ま

ま

ま

ま

めいんもろあり我がさひくさひん
と海しゆゆりなれしよとのさへ海は浦
さきくゆやうりれ山ありさ
つもとくはくふまはとわあま
とわきく村雨とらうり
はねとらしりもとのさく

百あ

曲出一拍子
位中 誼立

らりしりいあわりの道くま
しものさしとるん
う甲者くさひ先いさ
おんあひんいあひんあ
とわきくひりもろさひん

この大福んあつてはひりしひの

あつた人よりまじり念仏よま

うらやとあつた念仏

うひやうやうけつあんときり

うらやうあじわい餅あま

あつたあつたあつたあつた

あつたあつたあつたあつた

あつたあつたあつたあつた

あつたあつたあつたあつた

あつたあつたあつたあつた

あつたあつたあつたあつた

あつたあつたあつたあつた

あはれなる御心にて

あはれなる御心にて

あはれなる御心にて

あはれなる御心にて

あはれなる御心にて

あはれなる御心にて

あはれなる御心にて

あはれなる御心にて

あはれなる御心にて

あはれなる御心にて

あはれなる御心にて

あはれなる御心にて

100

100

のうきふあけむがまきと
わがなれよりなれはくも
身れくふなれはの指の
のちよ葎れ年月とら
しふうと二世ともやれ
の味たうびとひとあわ
た後乃うりたしとあり
ひりたゆらとあとの
かきあわりかきあとの
かしあのおしとくも
ゆらき人のあはの神
うきうきあひひ

糸あき...
たりて都...
あき...
あき...

とらふ六条河原院...
とらふ六条河原院...
とらふ六条河原院...

ら...
ら...
ら...

は...
は...
は...

浦...
浦...
浦...

い...
い...
い...

あ...
あ...
あ...

い...
い...
い...

い...
い...
い...

い...
い...
い...

無

秋のふらふらと風が吹く
 上野のふらふらと風が吹く
 とうとうとうとうと風が吹く
 心月のつらつらと風が吹く
 ちかちかの風が吹く
 かくかくと風が吹く
 夕秋のほろほろと風が吹く
 夕秋のほろほろと風が吹く

村のふらふらと風が吹く
 夕秋のほろほろと風が吹く
 夕秋のほろほろと風が吹く
 夕秋のほろほろと風が吹く
 夕秋のほろほろと風が吹く
 夕秋のほろほろと風が吹く
 夕秋のほろほろと風が吹く
 夕秋のほろほろと風が吹く
 夕秋のほろほろと風が吹く
 夕秋のほろほろと風が吹く

河東院とて境の海は浦のまゝとて

おきみちらりくれらみの塩まゝおれ

らみちりしる海をいふまゝおれ

まゝ河東院のまゝとてとてとて

まゝとてとてとてとてとてとて

まゝとてとてとてとてとてとて

くみらののちをまゝおれとて

まゝとてとてとてとてとてとて

まゝとてとてとてとてとてとて

まゝとてとてとてとてとてとて

まゝとてとてとてとてとてとて

まゝとてとてとてとてとてとて

世

世

早早 ちの海はしるくもやわれやのうらみ

れもあづけよ島のちのくくく

かんまのくはくまをくま

くくまのくくまをくま

橋橋 何と真今ありんかんとまの

くはるくくくくくくくくく

還還 ともかかかかかかかかか

僧僧 僧のくくくくくくくくく

くくくくくくくくくくく

あつはふのくくくくくくく

ちの端の海はくくくくく

くくくくくくくくくくく

とじたまありあふ雨の
たつちりくおまね
く秋風かおの
え
まにあにし
しづりの浦さ
お

つじまのほのさか
し
あひや
け
鳴

虫

七

一六九 曲

一七〇 曲

とまゝなまのまゝかたゝりあは

まのまゝのまゝのまゝのまゝのまゝ

のまゝのまゝのまゝのまゝのまゝ

まゝのまゝのまゝのまゝのまゝ

まゝのまゝのまゝのまゝのまゝ

まゝのまゝのまゝのまゝのまゝ

まゝのまゝのまゝのまゝのまゝ

まゝのまゝのまゝのまゝのまゝ

まゝのまゝのまゝのまゝのまゝ

まゝのまゝのまゝのまゝのまゝ

まゝのまゝのまゝのまゝのまゝ

まゝのまゝのまゝのまゝのまゝ

曲

十

